

地域ネットワークニュース

～令和5年9月の勉強会のお知らせ & 令和5年8月の勉強会報告～

第279回 地域ネットワーク勉強会

ひきこもり状態にある方の家族支援のポイント

～家族の関わり方が鍵～

講師：高橋 眞利子氏（心理療法士・ひきこもり支援相談士）
全国webカウンセリング協議会茨城支部めだかの学校代表

日時：9月21日(木)

時間：午後7時～午後8時30分

場所：保健・福祉会館2階 健康相談室

定員：30名（要事前申込）

ひきこもり状態に至る原因は様々ですが、本人にとってはエネルギーを蓄える時期やゆっくりと休息をとる期間など、決して「＝(イコール)良くないこと」とは言えない場合も多くあります。神栖市社協では、ひきこもり状態となったきっかけがどのような事柄であったにせよ「この状況を変えていきたい」という本人の思いを呼び起こし、応援していく相談窓口として『ひきこもり家族相談』を開催しています。今回は、ひきこもり家族相談で心理療法士としてご協力いただいている高橋先生をお招きし、本人への家族の関わり方のポイントなどを今まで積み重ねてきた事例をもとにお話しいただきます。福祉職として世帯に関わる地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネージャー、障害児者の計画相談員の方々など多くの皆さまの参加をお待ちしています。



ひきこもり家族相談では、ひきこもり状態にある方の「家族」に寄り添い、「明日からの関わりに役立つヒント」や「家族が根気よく本人へ関わり続けていくためにはどうすればいいか」などを一緒に考え、サポートしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。
申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 電話 0299-93-0294

第278回 地域ネットワーク勉強会報告 令和5年8月24日開催 <参加者50名>

『障害者の就労場面におけるミスマッチを防ぐには』

～就労継続支援A型事業所の取り組みや事業所連携～

講師：岡部泰雄氏（施設長） 就労継続支援A型事業所 エバーグリーン波崎



今回の勉強会では、「障害者の就労場面におけるミスマッチを防ぐには」をテーマに市内で就労継続支援A型事業所を行っているエバーグリーン波崎の岡部さんにお話しいただきました。講義の中では、A型事業所の特徴や作業内容などをB型事業所との違いを交えながら丁寧に説明いただきました。岡部さんからは、「A型事業所は障害のある方の働く場としては、働きがいや収入面の部分で魅力的な場所ではありますが、その分仕事に対する責任感も伴います。本人の興味関心や状態にあったサービスを利用していくためには、本人の意思も大切ですが、本人に関わる支援者が、適切な情報提供ができ、事業所間で連携していく環境が必要です。そのことが就労場面に置くミスマッチを防ぐことに繋がるのではないのでしょうか」との話があり、講義が締めくくられました。

勉強会終了後のアンケートでは「A型事業所の実情や取り組みが分かり、利用を検討している方への説明の参考としたい」「サービス利用時のミスマッチを防ぐためには適切なマッチングとより良い情報提供が大切だと感じた」などの感想をいただきました。